

《目的》長さの異なるアルキル基を有する酸性アゾ染料のナイロンに対する均染性と湿潤堅牢性を定量的に明らかに評価することを目的とする。すでに報告した同染料の染着性及びアルキル鎖長の影響を（平成3年度繊維学会秋季研究発表会）との関連で議論する。
《方法》回転ポット染色試験機 MINI COLOUR（テクサム技研）を用いて、染色布と未染色布とを同時に移染処理し、高速分光光度計 CMS-500（村上色彩技研）を用いて測色評価した。

《結果》同一染料濃度（3% o.w.f.）で染色したナイロン布の CIE表色系の主波長は、染料分子へのアルキル基導入により短波長移動し、色相も変化した。また主波長における K/S値は、アルキル鎖炭素数6以上で直線的に大きくなった。

移染率で評価した均染性はアルキル鎖長が短い方が高く（図1）、脱着率で評価した湿潤堅牢性はアルキル鎖長が長い方が高く（図2）、これらの性質を定量的に評価することができた。

